

## パークゴルフ場受付にベジチェックが設置されました

カゴメ（株）様により、右手を乗せるだけで野菜の摂取量が足りているか測定できる「ベジチェック」という機械がパークゴルフ場受付の入口付近に設置されました。

やり方はとても簡単で、タッチパネルを触り測定を開始すれば、あとは画面の案内に従って右手を機械の上に置くだけです。

日々の健康管理には運動・睡眠もそうですが、食生活は言うまでもなく大切です。

野菜の摂取量を確認し、その後パークゴルフをプレーすることで、膝に負担がかからない芝生の上を歩いて楽しく健康管理をしませんか？



約30秒で計測できます

## 第18回秋季広野町長杯PG大会(レッドカップ)を開催しました

10月15日（日）ニツ沼総合公園パークゴルフ場に於いて「第18回秋季広野町長杯パークゴルフ大会（レッドカップ）」を開催しました。

当日は生憎の雨模様の中、遠藤町長を始めとする出場者はカップを着てのプレーとなりました。雨で芝生が重いボールが飛ばず男性に有利なコンディションとなりました。

そんな中でも女性の部では塩史子さんが準優勝、鈴木厚子さんが第3位、西野ツマさんが第4位と健闘しました。男性の部では門馬貞雄さんが第3位に食い込み、町民では唯一表彰台に上る活躍を見せました。



女性の部入賞者の皆さん



男性の部受賞者の皆さん

## 第8回ベストボール方式男女ペアマッチPG大会が開催されました

10月22日（日）ニツ沼総合公園パークゴルフ場に於いて、広野町PG協会主催による「第8回ベストボール方式男女ペアマッチパークゴルフ大会」が開催されました。

ベストボール方式とは、ペアを組んだ男女ともに1打目を打ち、お互いに話し合ってどちらのボールを選択するか決めます。2打目はパートナーが選択したボールを打ちます。例えば女性が打った1打目の方がピンに近いと判断すれば、2打目は女性のボールを男性が打ち、その後交互に打ちます。

本大会は接戦で、優勝・準優勝ペアが109の同スコアでプレーオフ、第3位は1打差の110、第4位・第5位は更に1打差の111でした。表彰台に上ったのは第5位までのペアでしたが、わずか1打差の112で第6位に新妻常敬・西野ツマペア、同スコアで第7位に根本清次・根本美喜子ペアとなりました。



公式サイト



公式インスタ

## 移住定住促進策に関する視察で昭和村に行ってきました



広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。11月21日（火）に原発の影響を受けた12市町村を対象とした事業で、会津地方の昭和村への視察に移住相談員として参加してきました。今回の視察テーマは「住まいの確保」でした。昭和村はかすみ草の生産やからむし織に力を入れている自治体になります。人口約1,200名、高齢化率県内3位（令和2年国勢調査）の村ですが、かすみ草を栽培する新規就農者やからむし織の研修生受け入れなど、移住定住施策に関連付けて取り組んでおり移住者が増えてきているとの事でした。

視察で訪問した施設は「交流・観光拠点施設 喰丸小」や「田舎暮らし体験住宅」、空き家バンクに登録されている物件で内覧させていただきました。「交流・観光拠点施設 喰丸小」は廃校となった施設を改修し村の交流施設としてイベントなど開催しているとの事でした。昭和村役場担当者の説明では、移住定住施策は「空き家バンク」の利用促進を中心に、「空き家改修援助金制度」や「地域の空き家見える化プロジェクト」、「移住定住促進空き家活用事業」など、行政と住民が協力しながら促進しているとの事でした。昭和村役場職員はじめ、近隣自治体の移住担当者やグループワークや意見交換もでき非常に有意義な研修となりました。

「住まいの確保」は移住定住を進めていく上で重要な取り組みになります。広野町は子育て世帯、若者を中心に移住促進を進めています。広野駅東ニュータウン（HIRONO to TOWN）への移住定住を促進していきますが、宅地購入者以外の移住者受け入れも進めていく必要があります。移住相談員として他自治体の取り組み事例を情報収集し、広野町の「住まい」に関する環境づくりのお手伝いができると思います。



旧喰丸小学校



田舎暮らし体験住宅



空き家バンク物件



グループワーク風景